

# Conspiratorial Memory

Cultures of  
Suspicion in  
Post-Socialist  
Europe

2024(SUN)

3/24

17:00 ~18:30

陰謀論的記憶

疑いの文化

ポスト社会主義  
ヨーロッパにおける

講演者

Boris Noordenbos

アムステルダム大学准教授

ポストソ連時代のノスタルジア、トラウマ、ナショナル・アイデンティティなどに関して文化・文学を論じるとともに、現代ロシアや中東欧の陰謀論的なナラティブにおいて記憶がどのように利用されているかを探求している。著書に Post-Soviet Literature and the Search for a Russian Identity (Palgrave Macmillan 2016) 共編著に Post-Soviet Nostalgia: Confronting the Empire's Legacies (Routledge 2019) がある。

会場：東京大学 本郷キャンパス 法文1号館 216教室

(対面参加の方は直接会場へお越しください)

オンライン参加登録URL

[https://u-tokyo-ac-jp.zoom.us/meeting/register/tZYtceusqDsoH9FX-575oPGz64967Y\\_OSFdZ](https://u-tokyo-ac-jp.zoom.us/meeting/register/tZYtceusqDsoH9FX-575oPGz64967Y_OSFdZ)

主催

東京大学大学院 人文社会系研究科 スラヴ語スラヴ文学研究室  
科学研究費 国際共同研究加速基金(海外連携研究)「ポストソ連のメロドラマ文化」  
科学研究費 基盤研究(B)「ロシア・旧ソ連文化におけるメロドラマの想像力の総合的研究」  
科学研究費 基盤研究(C)「検閲と自己懲罰:ロシア帝国とソ連における文学テキスト生産メカニズムの考察」  
国際的な生存戦略研究プラットフォームの構築(北海道大学スラヴ・ユーラシア研究センター)  
問い合わせ slav(at)l.u-tokyo.ac.jp ※(at)を@に置き換えてください。(担当:平松潤奈)

使用言語：英語

